

令和５年度第４回岡崎市交通政策会議 会議録

１ 開催及び閉会に関する事項

令和５年１２月１８日（月）１４時００分～１６時００分

２ 開催場所

岡崎市役所西庁舎７階西７０１号室

３ 出席者及び欠席者の氏名

(１) 出席者（１６名）

伊豆原	浩二	委員	（まちづくりの達人ネットワーク 理事長）
松本	幸正	委員	（名城大学 教授）
花村	元気	委員	（名古屋鉄道(株) 地域活性化推進本部 地域連携部 交通サービス担当 課長）
寺澤	秀樹	委員	（愛知環状鉄道(株) 運輸部 次長）
大野	淳	委員	（名鉄バス(株) 運輸本部 首席 交通企画官） ※加藤 義郎 主任 代理出席
玉置	文博	委員	（名鉄東部交通(株) 取締役 路線バス事業部長）
浅岡	林平	委員	（愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長）
小林	裕之	委員	（(公社)愛知県バス協会 専務理事） ※徳田 裕二 事務局長 代理出席
猿渡	博士	委員	（愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事）
長坂	秀志	委員	（岡崎市総代会連絡協議会 会長）
加賀	時男	委員	（岡崎市障がい者福祉団体連合会 理事長）
萩原	幸二	委員	（岡崎市六ツ美商工会 会長） ※小林 昭彦 事務局長 代理出席
勝山	祐樹	委員	（国土交通省 中部運輸局 交通政策部 交通企画課長）
宮川	高彰	委員	（国土交通省 中部運輸局 愛知運輸支局首席運輸企画専門官） ※岡本 清志 運輸企画専門官 代理出席
久田	安信	委員	（愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長）
山口	幸治	委員	（愛知県警察 岡崎警察署 交通課長） ※西山 潤 主任 代理出席

(２) 欠席者（４名）

多々内	丈雄	委員	（岡崎商工会議所 交通部会 会長）
鷺山	幸男	委員	（岡崎市老人クラブ連合会 会長）

鈴木 勝彦 委員 (額田地域生活交通協議会)

石屋 義道 委員 (愛知県 都市・交通局交通対策課 担当課長)

4 関係議題審議のために出席した事業者の代表者等氏名

(株)西三交通 佐野 良明 氏

5 説明等のため出席した事務局職員の職氏名

岡田 晃典 (総合政策部長) 木下 政樹 (地域創生課長)

牧原 利雄 (地域創生課副課長) 大森 裕美 (主任主査) 川内 良祐 (主査)

徳原 誉人 (主事) 安藤 星哉 (主事)

6 傍聴者、随行者等

6 名

7 議題

(1) 六ツ美中部学区地域内交通運行計画 (案) について

資料 1 に基づき事務局より説明

<以下、各委員の意見等>

委員： 事業の目的として、お出かけ機会の創出による健康増進という点で特徴があるが、どのような形で実現していくか。

事務局： お出かけ機会の創出については、株式会社アイシンが主体的に動いていくこととなるが、地域主体による交通手段の導入という点で、地域の意見を尊重しながら、事業者と協力して実施をしていく想定である。

委員： お出かけ機会の創出という点で、地域の事業所の紹介やイベント等の情報が会員の方に向けてチラシ等でお知らせがあったが、4月以降も継続するのか。

事務局： その予定である。

委員： 引き続き、お出かけ機会の創出ということについては、地元の方とも共有し、適切に評価を継続していくと良い。

委員： 協定等の役割分担の中で、株式会社アイシンが主体的に動いていくという形にしているということだと思うが、市が全く関与しないということとならないようにご留意いただきたい。また、適宜、イベント実績やチョイソコ通信等について報告もいただけると良い。

事務局： 株式会社アイシンや地域を含め、役割分担について整理する予定である。実際に

利用されている方の状況を知っているのは地域の方のため、アンケート等で意見を確認しながら、事業評価等について進めていきたい。各種内容については、引き続きご報告をさせていただく。

委員： 既存交通事業者からの承諾は得られているのか。

事務局： 得られている。

委員： 今後、地域の情報発信の方法を工夫すると良い。民生委員の方など、地域と密接にかかわっている方もいるので、協力を仰ぐのも良い。

委員： 情報提供だが、チョイソコ通信については以前は会員向けだったが、最近では地域回覧で回ってくるようになったため、より多くの方の目に触れる形に改善されている状況である。

委員： 大変いいことだと思う。引き続き、なるべく多くの方を巻き込んで進めると良い。

委員： 回数券の有効期限等があれば教えていただきたい。

事務局： 車内で販売しており、有効期限については特に定めていない。

委員： 車内ということは、仮に予備車であっても、同様に購入が可能であるということとで問題ないか。また、事業者選定等するかと思うが、事業者が変わったとしても引き続き使えるのか。

事務局： 予備車両の場合においても、回数券購入については同様に対応いただく。また、事業者に変更があったとしても、回数券を継続して使っていく予定である。

委員： 4条許可にあたり、運行事業者が販売元となると思うので、適切に運行できるようにしていただければと思う。

委員： 運輸局等とも調整をしておくといい。

委員： 運行計画についてご了承いただいたこととして良いか。

委員： 異議なし。

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の評価について

資料2に基づき事務局より説明

<以下、各委員の意見等>

委員： 利用者が一人でも減ると大きく影響が出るということだが、逆の見方をすると、一人でも乗ることができれば、大幅に利用者数が増加することもある。例えば、何かのイベント等を開催して街中からの利用を図るといった考え等はあるか。

事務局： 令和5年4月より小規模特認校制度が始まり、通学の際に公共交通の利用ができ

ると併せて周知をしたこともあり、路線によっては定期的な利用者の増加がみられた。

また、本市では中山間地域の活性化を図る事業も進めているため、そういった際に公共交通も活用できるという周知を進めていきたいと考えている。

委員： 地域公共交通確保維持改善事業については、国の補助金が投入されている。そのため、この補助金が効果的に使われているかの確認のため、年に1度評価し、公表するというものである。

委員： 県の協議会が主体となっているが、地域間幹線系統についても、評価するフィーダー系統と連動してくるものとなるため、次回の会議の際に共有すると良い。また、目標を達成しなかった路線のうち形埜地区線が特に大きく下回っている状況である。重点的に分析していただき、必要であれば様式に反映すると良い。

資料2別紙③中部様式のDoについてですが、確保維持費補助金を意識して対応する施策を赤字として強調していると思うが、交通ネットワークは基本的に市街地を中心としていることから、①、②の都心ゾーンでの事業もアピールすると良い。

事務局： フィーダーの各路線については、引き続きモニタリングを進め、原因分析を進めたい。また、中心市街地の事業についても強調して公表し、PRをしていきたい。

委員： 地域間幹線については、何かご意見はあるか。

事務局： 岡崎市の地域間幹線系統の実績については、補助要件の一つである輸送量15人以上の基準は達成しており、利用者数についても回復傾向にある。しかしながら、大きく上回っているわけではないため、県や沿線市とともに利用促進に努めたい。

委員： 今後、地域間幹線系統についても資料を共有いただけると良い。

委員： 資料3別紙③中部様式のDoについては、先ほどの意見にもあったが、地域へのPRにも使えるようにという主旨のもと作成するものでもある。補助金に関わる箇所以外の部分についても強調してアピールすると良い。また、新規事業、継続事業等について記載し、分かりやすくすると良い。

委員： 事業評価については本会議で承認するというものである。資料が事前に送付されているため委員の方は読み込んでいただいていると思うが、市だけでなく事業者等も併せて実施する部分もあるため、もう少し、詳しく説明をいただくと良い。

委員： 資料2別紙①の事業の今後の改善点と資料2本編で内容が一部ずれているように思えるがどうか。

事務局： 提出する資料2別紙①を正とし、資料2本編を修正する。

委員： 今受けた意見等をもとに、事務局の方で修正していただき、会長、副会長で確認し

た上で、提出をしていただきたい。修正を前提としてではあるが、その他意見等なければこの案について承認したということで良いか。

委 員： 異議なし。

- (3) 令和 5 年度岡崎市交通政策会議事業計画及び予算の変更（案）について
資料 3 に基づき事務局より説明

＜以下、各委員の意見等＞

委 員： 公共交通に興味を持っていただくという主旨だと思うので、来年度以降も、継続して進めていただけると良いと感じた。

委 員： 改札内で撮影したフォトコンテストの実施であり、利用者の増加につながる事業であるため、事業者としてありがたい。今回は、岡崎市内の範囲のため、今後は全線での開催も検討できると良い。

委 員： 人が写る場合もあるかと思うので、気を付けて実施をしていただきたい。

事務局： 応募規約で人物の撮影の際には、被写体となる方の許可を得ることとしている。
また、未成年の方については、保護者の方を含めた許可等を要件としている。

委 員： どんどん広まってくると良い。

質問だが、愛環車内中吊りについて教えてください。

事務局： まだ確定ではないが、愛環車内の中吊り 4 枠を確保する予定である。そのうち最優秀賞は 1 作品で 2 枠、優秀賞は 2 作品で 2 枠を活用する予定である。

委 員： QR コードを読取ると、規約等に到達できないが問題ないか。

事務局： まだ実装できていないため、現在は、仮で市 HP のトップページとしている。

委 員： 事故がないように安全対策をしっかりとっていただきたい。

委 員： 安全対策についても広報していただけると良い。

委 員： 応募方法の部分に「コメントとともに」という記載があるが、車内中吊りへの掲載や審査の基準となるという理解で良いか。

事務局： 写真の優劣だけではなく、公共交通に添えるコメントについても審査や掲載の対象とすることを想定している。

委 員： フォトコンテストの実施についてご了承いただいたこととして良いか。

委 員： 異議なし。

(4) 岡崎市公共交通マップの製作について

資料 4 に基づき事務局より説明

＜以下、各委員の意見等＞

委 員： 意見については、本日でなくともよいと思うが、1月26日までの入稿の1週間前くらいまで、事務局で受け付けるという形で良いか。

事務局： 良い。

委 員： 東岡崎駅の北口が長期間にわたって工事に入ると聞いているが、タクシー乗り場等の記載について最終のものとするのか。工事中のものとするのか。

事務局： 4月1日時点の情報を反映させる予定である。また、コロナ対策の記載を省く予定であり、枠に余裕ができる予定のため、工事中である旨や注意事項の補記等について検討したい。

委 員： 配布方法はどうか。

事務局： 転入者には市役所の窓口で全世帯手渡しをしている。また、東岡崎駅の出札や支所等の公共施設に設置している。

また、今年度10月から、免許返納者向けに岡崎警察署にも設置をお願いするようになった。

委 員： 名鉄バスの高齢者パスのチラシは併せて設置してあるのか。

委 員： 設置している。

委 員： 前回製作したマップより観光地等の記載もあり、他の自治体にはない良い取組みだと思う。一方で公共交通で行けない場所もあるので、公共交通との接続も意識して製作するとより良い。

(5) その他

高齢者フリーパスシルバーパス 65、ゴールドパス 70 への補助金の交付についての結果及び、購入者向けアンケートの回収状況について説明

デマンド型交通の会員向けアンケートの実施について説明

8 連絡事項

次回会議（令和 5 年度第 5 回）予定について連絡

— 会 議 終 了 —